

さいがいたげんごしえん      せつち      うんえいくんれん  
災害多言語支援センター設置・運営訓練  
ほんやくさぎょう      てじゆん  
< 翻訳作業の手順 >

さいがいたげんごしえん      やくわり  
■ 災害多言語支援センターの役割

おお      さいがい      お      さいがいじょうほう      せいかく      う      と      がいこくじん      たい  
大きな災害が起きたとき、災害情報を正確に受け取ることのむずかしい外国人に対して  
たげんご      じょうほうていきょう      つう      しえん      おこな      やまとし      やまとしやくしよ      やまとこく  
多言語による情報提供を通じて、支援を行います。大和市では、大和市役所と大和国  
さいかきょうかい      た      あ      うんえい  
際化協会が立ち上げ、運営します。

くんれん      もくてき  
■ 訓練の目的

- (1) 国際化協会と他団体や外国人市民など関係者が協力し合えるネットワークづくりの  
いっかん      じっし  
一環として実施する。  
ぎょうせい      さいがいたげんごしえん      ぶ      ほっしん      じょうほう      に      ほんご      なお  
(2) 行政(災害対策本部)から発信されるさまざまな情報を「やさしい日本語」に直した  
たげんご      か      さい      さぎょう      なが      かくにん  
り、多言語化する際の作業の流れを確認する。

さいぎょう  
■ グループ作業

う      と  
1 受け取る

さいがいたげんごしえん      ぶ      じょうほう      う      と      こんかい      じしんはっせい      じかんご  
災害対策本部からの情報を受け取ります。今回は、11:20 の地震発生から3時間後  
の14:20に災害多言語支援センターを立ち上げたという想定です。

えら      ぶ  
2 選ぶ

う      と      じょうほう      なか      ほんやく      がいこくじん      とど      じょうほう      えら      がいこくじん  
受け取った情報の中から、翻訳して外国人に届けるべき情報を選びます。外国人に  
じゅうよう      ど      かんが      じょうほう      えら  
とっての重要度などを考えて、情報を選びます。

ほんやく      する  
3 翻訳する

えら      じょうほう      に      ほんご      たげんご      えいご      こ      ほんやく  
選んだ情報を「やさしい日本語<sup>1</sup>」と「多言語(英語、スペイン語・・・など)」に翻訳しま  
す。やさしい日本語に直した情報や翻訳した情報は、避難所の掲示板、ホームペー  
じ、facebook、FM やまと・・・などを使って、外国人に届けます。

4 まとめ

さいぎょう      つう      き      せいり  
作業を通じて気づいたことを整理します。

1 「やさしい日本語」とは普通の日本語よりもかんたんで、外国人にも分かりやすい日本  
ご      語のことです。